

令和6年度 第1回蕨市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

1 日 時 令和6年7月9日(火) 10:30~11:30

2 会 場 蕨市役所 5階 委員会室

出席者(敬称略)

委員 : 佐藤 慎也 赤羽 悟 福田 望 土屋 修
山口 浩 秋元 知子 泉山 高子 平田 毅
松本 隆男

事務局 : 小山 晃弘(教育部次長)
葛原 順也(学校教育課指導主事)
遠藤 雄也(学校教育課指導主事)

3 【開会】 小山 晃弘

4 【委嘱状交付】

5 【本連絡協議会に関する説明】

6 【議長選出】

7 【協議】

(1) 蕨市立小・中学校の状況

事務局からの説明

- ・本市のいじめに対する対応について(いじめの認知、解消)
- ・令和6年度「児童生徒の問題行動・不登校生徒指導の諸問題に関する調査」における蕨市の状況(いじめの態様)

《質疑応答》

[委員]

認知数が増加していることについて。認知数が少ないと、水面下でいじめが行われていて、明るみに出ていないことが心配される。よく吸い上げられている結果とも見られるが、教育委員会としてはこの結果をどう考えているか。

[事務局]

教育委員会としても積極的な認知を進めており、小さな事案でも報告するようにしている。認知件数が増えていることについては先生方のアンテナが高くなっていると考えている。

[委員]

3か月たっても未解決の事案があるとのことだが、方針として未解決の事案は今後0を目指すのか。

[事務局]

中学校1件、小学校2件以外は未解消となっている。継続して対応している状況。

[委員]

目標としては0件にしていくということで良いか。

[事務局]

その通りである。

[委員]

中学校で1番多いのが本人からの訴え、保護者からの訴えとなっているが、この小学校との差についてはどのような要因が考えられるか。

[事務局]

子供たちの発達段階上しっかり伝えられるようになってきていると捉えている。

[委員]

本人の訴えで発覚しているいじめについて、いじめの相談先はスクールカウンセラーや、さわやか相談員、担任などが考えられるが、多いのは誰か。

[事務局]

担任が多い。

(2) いじめ防止に向けた取組

○蕨市としての取組

- ・いじめ未然防止ワーキンググループ
学校生活アンケートの開発
ライフスキルの手法を用いたプログラムの全面実施

○学校としての取組

- ・「蕨市いじめのない明るい学校づくり会議」(2月 参集方式での実施)
各小中学校における児童生徒の自主的な活動の発表及び協議の様子を報告

《質疑応答》

[委員]

すごく良い取り組みだと思う。色々なことにチャレンジすることの良さがある。

(3) 各機関、団体からの報告

[委員]

長い夏休みに入る。家庭、学童が中心になる。見守っていきたい。たくさんの目で見ていけると良い。

[委員]

些細なことでもいじめとして認知すること、どこまでをいじめとするのかがわからないが、減っていないのは驚く。SNS上の盗撮等の相談はあるのか、警察に聞きたい。

[委員]

ある。小中に限って言えばそれほどない。いじめを乗り越えて犯罪となるような事案は警察でも対応している。犯罪に至らないものについては、警察には話が入ってこない、学校で対応してもらっていると思っている。

[委員]

DVについての相談は警察に相談しても良いのか。

[委員]

相談していただいて良い。

[委員]

PTAでいじめにフォーカスしている話はない。令和4年度から中学校のいじめが増えているのは、スマホの普及が関わっているのではないかと思う。普及率が低年齢化していることを考えると、中学生のいじめとスマホの普及率は関係していると感じる。すでにネットについて取り組みをしているので、継続していくことが大切だと思う。

[議長]

いじめの増加について、いじめの認知基準は変わっているのか。

[事務局]

一定の人間関係があつて被害側が嫌なことをされたと感じるといじめと認知するよ

うにしている。

[委員]

本校でも悪口のような些細なものでもいじめと認知している。昔のように集団で一人の人間をいじめるような事案は少なくなっている。認知件数自体は積極的な認知を心掛けているため今後も減らないと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症が5類になってから認知件数が上がったのではという肌感覚がある。

[委員]

留守家庭児童室についても、いじめについて保護者から相談がある。こども未来課として動く事案があるが、共通している点は、配慮が必要な特性のある児童、家庭環境が複雑な児童である。巡回指導員を配置して職員と解決を図っているがなかなか解決が難しい。引き続き学校と連携をしていく。

[委員]

夏休みの地域の目が大切だという話があったが、地域に何か求められていることはあるか。

[事務局]

コミュニティ・スクールが市内全校で設置されたため、地域の目で見守るという観点からも今後協議していく。

[教育長]

後一週間で長期休みに入る。そこから一ヶ月は目が行き届かないため心配な面はある。色々なところで見てもらっていじめがあった場合は早急に対応することが必要である。蕨市では、全ての学校がコミュニティ・スクールを設置した。地域、学校が、お互いに子供や地域の様子を報告してもらえると良い。夏は学童が大変だと思うが、何かあったら学校にも報告し、お互いに協力し子どものために頑張っていければと思う。

8 【その他】

事務局より事務連絡

- ・ 令和6年度第2回蕨市いじめ問題対策連絡協議会
令和6年11月ころ実施予定

9 【閉会】 小山 晃弘